

第七十九回  
帝國議會  
貴族院

昭和十五年法律第六十九號中改正法律案特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

昭和十五年法律第六十九號中改正法律案

(政)

朝鮮事業公債法中改正法律案(政)

臺灣事業公債法中改正法律案(政)

高等商船學校及商船學校ノ移管ニ伴フ一般會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案(政)

作業會計法中改正法律案(政)

勞働者年金保險特別會計法案(政)

昭和十七年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政)

昭和十五年法律第七號中改正法律案(政)

昭和十三年法律第五十三號中改正法律案(政)

昭和十五年法律第七十九號改正法律案(政)

海軍工廠資金會計法中改正法律案(政)

帝國鐵道會計法中改正法律案(政)

昭和十三年法律第二十三號中改正法律案(政)

昭和十二年法律第八十四號中改正法律案(政)

臨時軍事費特別會計法中改正法律案(政)

委員氏名

委員長 子爵秋元 春朝君

副委員長 男爵東郷 安君

公爵岩倉 具榮君

侯爵佐竹 義春君

伯爵柳澤 保承君

子爵今城 定政君

村上 恭一君

田口 弼一君

男爵伊藤 一郎君

村瀬 直養君

男爵北大路信明君

黒田 英雄君

三橋四郎次君

大藪 守治君

諸橋久太郎君

昭和十七年一月三十一日(土曜日)午後一時三十分開會

○委員長(子爵秋元春朝君) 是ヨリ本委員會ヲ開會致シマス、議事ノ進行ニ付キマシテ、皆様ニ御諮リシタイコトゴザイマス、速記中止

(速記中止)

○委員長(子爵秋元春朝君) 速記ヲ始メテ……、只今御諮リ致シマシタヤウニ、本案ノ審議ノ順序デアリマスルガ、彙報ニ出テ居リマス順序ニ從ツテ、順次各案ヲ御審議願ヒタイト思ヒマス、先ツ各案ニ付キマシテ、政府當局カラ無論本會議ニ於テ大體ノ御説明ガアリマシタガ、尙詳シイ御説明ヲ各案毎ニ一括シテズット承リ、ソレガ濟ミマシテカラ、今度ハ此ノ順序ニ從ヒ各案毎ニ質疑應答ヲ御願ヒ致シ、各案皆ソレヲ濟マセマシテ、ソレカラ今度ハ又元ヘ戻リマシテ、各案ニ付テ討論及採決ヲ順次ニ致シ、全部終了致シタイト、斯ウ云フ心持デ私ハ居リマスガ、皆様御異議ゴザイマセスカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

○委員長(子爵秋元春朝君) 御異議ナイト認メマシテ、左様ニ取運ビマス、政府當局ノ方カラ本會議以上ニ詳シク御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(谷口恒三君) 本委員會ニ付託ト相成リマシタ昭和十五年法律第六十九號中改正法律案外十四件ニ付キマシテ、其ノ提出ノ理由ヲ御説明申上ゲマス、先ツ昭和十五年法律第六十九號中改正法律案ニ付御説明申上ゲマス、從來支那事變ニ關シ功勞アリタル陸海軍軍人其ノ他ニ對スル行賞實行セラル、コトト相成ツテ居リマシテ、其ノ昭和十五年度分及同十六年度分ト致シマシテハ、現行ノ昭和十五年法律第六十九號ニ依リマシテ、總額六億三千二百七十萬圓ヲ限リ、一時賜金トシテ交付スル公債ノ發行ヲ爲シ得ル權能ヲ得テ居ルノデアリマスガ、今回文官其ノ他ノ公務員竝ニ一般民間功勞者ニ對スル分及今回ノ大東亞戰爭ニ際シ死歿シタル軍人軍屬ニ對スル分ヲモ見込ミマシテ、公債ノ發行限度ヲ五億四千萬圓増額シ、十一億三千六百七十萬圓ト爲シ、昭和十五年度乃至同十七年度分トシテ公債ノ發行ヲ要シマスルノデ、昭和十五年法律第六十九號中改正ニ關スル本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、次ニ朝鮮事業公債法中改正法律案ニ付御説明ヲ申上ゲマス、朝鮮總督府特別會計ニ於ケル既定繼續費タル鐵道建設及改良費、道路修築改良費、港灣修築改良費及電信電話擴張及改良費ノ追加額其ノ他一億六千八百七十餘萬圓ニ鐵道建設及改良費、其ノ他ノ既定額中普通財源ニ依ル豫定デアリマシタモノノ内、七千三百餘萬圓、合計二億三千九百十餘萬圓ニ付キマシテハ、同特別會計歲計ノ現狀竝ニ其ノ經費ノ性質ニ顧ミマシテ、之ヲ公債財源ニ依ルコトト致シマシタル處、港灣修築改良費ノ既定額ノ内昭和十六年度ニ於テ公債財源ニ依ル豫定ノモノニ決算上不要ト爲スベキモノ等ガ八百餘萬圓アリマス爲、差引二億三千二百二十萬圓ダケ現行ノ朝鮮事業公債法ニ依ル公債ノ發行限度ヲ増加スルノ必要ガアリマスルノデ、本法律案ヲ

○委員長(子爵秋元春朝君) 速記ヲ始メテ……、只今御諮リ致シマシタヤウニ、本案ノ審議ノ順序デアリマスルガ、彙報ニ出テ居リマス順序ニ從ツテ、順次各案ヲ御審議願ヒタイト思ヒマス、先ツ各案ニ付キマシテ、政府當局カラ無論本會議ニ於テ大體ノ御説明ガアリマシタガ、尙詳シイ御説明ヲ各案毎ニ一括シテズット承リ、ソレガ濟ミマシテカラ、今度ハ此ノ順序ニ從ヒ各案毎ニ質疑應答ヲ御願ヒ致シ、各案皆ソレヲ濟マセマシテ、ソレカラ今度ハ又元ヘ戻リマシテ、各案ニ付テ討論及採決ヲ順次ニ致シ、全部終了致シタイト、斯ウ云フ心持デ私ハ居リマスガ、皆様御異議ゴザイマセスカ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ

提出致シマシタ次第アリマス、次ニ高等商船學校及商船學校ノ移管ニ伴フ一般會計及學校及圖書館特別會計ノ關涉ニ關スル法律案ニ付御説明申上ゲマス、海軍行政機構ノ擴充強化ニ伴ヒマシテ、官立ノ高等商船學校及商船學校ガ、文部省所管カラ遞信省所管ニ移管セラレマシタ結果、東京高等商船學校、神戸高等商船學校、富山商船學校、鳥羽商船學校、大島商船學校、鹿兒島商船學校、廣島商船學校、粟島商船學校及弓削商船學校ハ、昭和十七年一月一日ヲ以テ學校及圖書館特別會計カラ一般會計ニ移シ替フルコトナリマシタノデアリマスルガ、右移管ハ當分ノ内ノ處置デアリマシテ、將來ハ再び文部省所管ニ復歸スル豫定デアリマスノデ、昭和十六年十二月三十一日現在ノ學校及圖書館資金ニシテ、前述ノ高等商船學校及商船學校ノ各學校毎ニ區分整理シテ居リマスル現金及有價證券並ニ是等ノ學校ノ昭和十六年度ニ於ケル學校及圖書館特別會計法第八條ノ施行豫算ノ歳入殘餘ニ付キマシテハ、當分ノ内文部大臣ノ管理ニ屬セシメマシテ、學校及圖書館資金トシテ當該學校毎ニ區分整理スルノヲ適當トスルコト、又ハ昭和十六年十二月三十一日現在ノ共通資金ニシテ、東京高等商船學校及神戸高等商船學校ノ用ニ供シマスル不動産ニ付キマシテハ、之ヲ資金ヨリ拂出シマシテ、一般會計ノ所屬ト致シマスノヲ適當トスルコト等、一般會計ト學校及圖書館特別會計トノ間ニ於キマシテ生ジマスル種々ノ關涉事項ヲ定メマスル爲、本法律案ヲ提出致シマシタ次第アリマス、次ニ作業會計法中改正法律案ニ付御説明申上ゲマス、大藏、商工兩省間ニ於キマスル所管事務ノ調整ノ

爲、從來大藏大臣ノ管理ニ屬シマシタ「アルコール」專賣事業ヲ商工大臣ノ管理ト致シマシタノニ伴ヒマシテ、從來專賣局特別會計ニ於テ經理致シテ居リマシタ「アルコール」專賣事業ニ關スル歳入歳出ハ、之ヲ專賣局特別會計ヨリ分離致シマシテ、薪タニ燃料局酒精部特別會計ヲ設置シ、之ヲ經理スルノヲ適當ト認メマシテ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、次ニ勞働者年金保險特別會計法案ニ付御説明申上ゲマス、昨年三月公布セラレマシタ、勞働者年金保險法ニ依リマシテ、政府ニ於テ勞働者年金保險事業ヲ經營スルコト相成ルノデアリマスルガ、本事業ノ經營ニ關シマスル歳入歳出ハ、他ニ政府ガ經營致シテ居リマスル保險事業ノ場合ト同様、之ヲ一般會計ト區分經理スルノヲ適當ト認メマスル處、是ガ爲ニハ特別會計ヲ設置スルノ必要ガアリマスノミナラス、又勞働者年金保險法ノ施行ニ伴ヒマシテ、團體郵便年金ノ年金受取人ガ同保險法ノ強制被保險者トナリマシタ場合等ニ於テ、郵便年金特別會計ト本會計トノ間ニ關涉ガ起リマスルノデ、之ニ關スル規定ヲ設クルノ必要ガアリマスル關係上、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、次ハ昭和十七年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案デアリマシテ、之ニ付御説明申上ゲマス、目下衆議院ニ於テ審議中デアリマスル昭和十七年度歳入歳出總豫算追加第一號、及既ニ御協贊ヲ得マシタ同第二號ニ計上致シテ居リマスル經費ノ財源ノ一部ト致シマシテハ、現行ノ道路公債法ニ依ル公債ヲ發行致シマスル外、歳入ノ不足ヲ補填スル爲、十五億七百九十萬圓ヲ限り公債ノ發行ヲ要シマス

ルノデ、其ノ起債ノ權能ヲ得ル必要ガアルノデアリマス、即チ昭和十七年度ノ歳入歳出總豫算追加第一號及第二號ヲ合セマシタル歳出總額二十六億二千餘萬圓ニ對シ、普通歳入ガ十億三千六百餘萬圓並ニ借入金五千四百萬圓ヲ充當致シマシテ、尙不足致シマスル十五億九千九百餘萬圓ハ公債財源ニ依ルノ必要ガアルノデアリマシテ、此ノ内現行ノ公債法ニ依リ調達シ得マスル道路公債分四百餘萬圓ヲ差引キ、十五億七百九十萬圓ヲ限り起債スルノ必要ガアルノデアリマス、次ニ從來ノ例ニ依リマスレバ、昭和十七年度歳出豫算中、若干ノ金額ハ翌年度ニ繰越サル、結果ニナルデアラウト存ゼラレマスル處、其ノ繰越額ノ財源於テ發行スルノ必要ハアリマセヌノデ、之ヲ其ノ翌年度ニ於テ發行シ得ルコトトスルノヲ適當ト認メマシテ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、次ニ昭和十五年法律第七號中改正法律案ニ付キマシテ御説明申上ゲマス、從來ノ造幣局東京出張所ノ廳舎等ノ新營擴張ニ要スル經費ハ、昭和十五年度ヨリ昭和十七年度ニ互ル繼續費總額四百十五萬圓デアリマシテ、之ガ財源トシテ造幣局資金ノ内ヨリ同額ヲ一般會計ニ繰入ル、コトト相成ツテ居ルノデアリマスルガ、今回造幣局ニ於ケル事業量ノ増大ニ伴ヒマシテ、更ニ造幣局ノ工場等ヲ新設スルノ必要ガ生ジマシタル爲、之ヲ昭和十七年度ヨリ昭和十九年度ニ互ル繼續事業ト致シマシテ、之ニ要スル經費、總額千八百八十七萬圓ト、既定ノ繼續事業ニ付キマシテ増額ヲ必要トスルニ至リマシタル經費三萬八千七百七十五圓トノ財源ニ充テマスル爲、

造幣局ノ資金ノ内ヨリ更ニ千八百九十萬八千七百七十五圓ヲ拂出シ、一般會計ニ繰入ルコトトナス等ノ必要ガアリマスルノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、次ニ昭和十三年法律第五十三號中改正法律案ニ付キマシテ御説明申上ゲマス、印刷局ノ据置運轉資本ハ、現行ノ作業會計法第二條ノ規定ニ依ル百萬圓ト、昭和十三年法律第五十三號ニ依ル据置運轉資本ノ一時補足金七百萬圓トニ相成ツテ居ルノデアリマスルガ、印刷局ニ於キマスル事業量ハ、近年急激ニ増大致シテ參リマシタ關係上、從來ノ据置運轉資本ヲ以テシマシテハ、其ノ作業遂行上、時ニ困難ヲ伴ヒマスルノデ、此ノ際前述ノ昭和十三年法律第五十三號ニ規定スル借入金ノ法定額ヲ千五百萬圓ニ増額致シマシテ、据置運轉資本ニ不足ヲ生ジマシタ場合ニ、一時補足シ得ベキ限度ヲ擴張スルノ必要ガアリマスル爲、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、次ニ昭和十五年法律第七十九號改正法律案ニ付キ御説明申上ゲマス、支那事變ニ際シ、陸海軍用ノ兵器、造船、造兵ノ材料等ノ製造修理等ノ圓滑ヲ圖ルノ緊要ナルニ顧ミマシテ、曩ニ昭和十五年法律第七十九號ヲ制定シ、陸軍作業會計法、陸軍航空工廠資金特別會計法及海軍工廠資金會計法ノ特例ヲ定メ、前述特別會計ニ屬スル材料物品ノ賣拂ノ途ヲ拓イタノデアリマスルガ、其ノ後支那事變ハ漸次發展シ、遂ニ大東亞戰爭トナルニ及ビ、銃、兵器、造船造兵等ノ製造修理等ノ圓滑ヲ圖ルノ必要ガ増大シテ參リマシタノデアリマス、現行法ニ於キマシテハ、軍需品工場事業場ニ材料物品ヲ供給シ得ルノハ、軍需品工場事業場ニ於キマシテ、其ノ材料物品

ノ一部分不足シ、陸軍造兵廠、陸軍製絨廠、陸軍航空工廠資金、海軍工廠資金ノ各特別會計ニ屬スル材料物品ヲ供給スルニ非ザレバ、當該製造又ハ修理ヲ完成シ得ザル場合ニ限定シテゴザイマシテ、實行上此ノ制限ノ爲ニ支障ガアリマスル爲メ、今回其ノ制限ヲ緩和シテ、廣ク軍需品工場事業場ニ材料物品ヲ供給シ得ルコトトシ、更ニ陸海軍用ノ施設ニ關スル土木建築ノ工事ヲ營ム者ニ對シマシテモ、陸軍造兵廠、陸軍製絨廠、陸軍航空工廠資金、又ハ海軍工廠資金ノ各特別會計ニ於キマシテ、其ノ材料物品ヲ供給シ得ルノ途ヲ拓キ、兵器、造船造兵ノ材料等ノ製造修理等、又ハ陸海軍用ノ土木建築ノ工事ノ圓滑ナル遂行ヲ圖ルヲ適當ト認メタ次第デアリマス、附則第二項ハ陸軍航空工廠資金ノ臨時補足ニ關スル規定デアリマス、前述ノ措置ニ伴ヒマシテ、陸軍航空工廠資金ニ不足ヲ生ジマスノデ、今回三千五百萬圓ノ一般會計ヨリ陸軍航空工廠資金ニ臨時補足スルコトトシ、是レガ財源ニ付キマシテハ、借入金ニ依ルコトト致シマス等ノ爲本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、

次ニ海軍工廠資金會計法中改正法律案ニ付キ御説明申上ゲマス、現行ノ海軍工廠資金ハ海軍工廠資金會計法第二條ノ規定ニ依ル分五千萬圓及海軍工廠資金臨時補足ニ關スル法律ニ依ル分三千萬圓ト相成ツテ居ルノデアリマスルガ、海軍ノ造船及造兵ノ工廠ニ於ケル事業量ノ激増ニ伴ヒマシテ、海軍工廠資金會計ニ於ケル材料物品ノ持越高ガ著シク増加致シマシタル結果、從來ノ資金額ヲ以テシマシテハ、本會計ヨリ海軍ノ工廠ニ對シマシテ適時的確ニ所要材料物品ヲ供給スルコト、頗ル困難トナリマシタル狀

況ニ願ミマシテ、本資金ノ法定額ヲ一億圓ニ増額シ、漸次一般會計ヨリ繰入ル、コトト致シマスルト共ニ、其ノ繰入ニ代ヘ臨時軍事費ヲ以テ購入致シマシタル材料物品ヲ本會計ノ材料物品ニ組入レ、海軍工廠資金ノ増額ニ充テ得ルノ途ヲ拓クノ必要ガアリマスルノト、當分ノ内軍ノ需要充足ノ爲ニ必要アル場合ニハ、海軍工廠資金ヲ以テ海軍工廠資金會計法第一條ノ規定ニ依ル材料物品以外ノ材料物品ヲ貯蓄シ得ルコトト致シマス必要ガアリ、又海軍工廠資金ニ臨時ニ不足ヲ來タシマシタルトキハ、現行ノ臨時補足ノ限度三千萬圓ノ外千萬圓ヲ限リ臨時補足シ得ルコトトスルノ必要ガアリマスルノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、次ニ帝國鐵道會計法中改正法律案ニ付キ御説明申上ゲマス、鐵道施設ノ整備擴充ノ必要ニ備ヘ、將來ニ於ケル鐵道改良費ノ平準化ヲ計ル爲、新タニ帝國鐵道特別會計ニ鐵道改良準備金制度ヲ設クル必要ガアリマスルノト、新タニ陸運統制ニ要スル經費ヲ本會計ノ收益勘定ノ所屬トスルヲ適當ト認メマシタルノト、又交通輸送力ノ整備

ヲ計ルノ緊要ナルニ願ミマシテ、本會計ニ於テ他ノ委託ニ應ジ鐵道輸送等ニ關スル機械器具等ノ製作修理又ハ調達ヲモ爲シ得ルコトト致シマス等ノ爲、本法律案ヲ提出致シマシタル次第デアリマス、次ハ昭和十三年法律二十三號中改正法律案ニ付キ御説明申上ゲマス、昭和十三年法律第二十三號ノ規定ニ依リ關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ヨリ其ノ租稅收入又ハ煙草專賣收入ノ一部ヲ、臨時軍事費特別會計ニ繰入ル、コトニ相成ツテ居リマス

ルガ、今回新タニ朝鮮總督府特別會計ニ於ケル地稅、營業稅、資本利子稅、相續稅及樺太廳特別會計ニ於ケル相續稅ノ昭和十七年度以降ノ増徴ニ依ル增收額、關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル廣告稅、馬券稅、關東局及臺灣總督府ノ各特別會計ニ於ケル清涼飲料稅、關東局特別會計ニ於ケル骨牌稅及朝鮮總督府特別會計ニ於ケル電氣瓦斯稅ノ創設ニ依ル收入額並ニ關東局、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル通信料金、朝鮮總督府、臺灣總督府及樺太廳ノ各特別會計ニ於ケル鐵道運賃及臺灣總督府特別會計ニ於ケル自動車運賃ノ改正ニ依ル昭和十七年度以降ノ增收額ノ一部ヲ、毎年度豫算ノ定ムル所ニ依リ臨時軍事費特別會計ニ繰入ル、コトニ致シマシタル處、之ガ會計上ノ處理ニ關シマシテ昭和十三年法律第二十三號中改正ノ必要ト致シマスルノデ本法律案ヲ提出致シマシタル次第デアリマス、次ニ昭和十二年法律第八十四號中改正法律案ニ付テ御説明申上ゲマス、臨時軍事費ニ付キマシテハ、第七十二回帝國議會ノ協贊ヲ經、臨時軍事費特別會計設置以來第七十六回迄ノ各帝國議會及先般開カレマシタル第七十七回及第七十八回ノ各臨時議會ノ協贊ヲ經マシテ、總額二百八十四億千七百六十餘萬圓ノ豫算ノ成立ヲ見タノデアリマシテ其ノ所要財源中二十九億九千八百七十萬餘圓ニ付キマシテハ、之ヲ一般會計及特別會計ヨリ繰入金等ヲ以テ充當シ、差引キ不足スル二百五十四億千八百九十餘萬圓ニ付キマシテハ、現行ノ昭和十二年法律第八十四號ニ依リ總額二百五十四億千九百萬圓ヲ限リ公債ノ發行ヲ爲シ得ル權能ヲ得テ居ルノデアリマスルガ、然ルニ今回御協

贊ヲ得マシタル臨時軍事費百八十億圓ノ追加豫算ニ關シマシテハ其ノ所要財源中三十億四千九百餘萬圓ハ一般會計及特別會計ヨリ繰入金ヲ以テ、又九億五千八百五十餘萬圓ニ付キマシテハ、軍事費納金、北支事件特別稅收入、其ノ他雜收入ヲ以テ充當シ、差引キ不足スル百四十億四千餘萬圓ニ付キマシテ、今日ノ場合之ヲ公債財源ニ依ルコトト致シマス爲、昭和十二年法律第八十四號中公債ノ發行限度ヲ百四十億五十萬圓ダケ増加スル必要ガアリマスノデ、本法律案ヲ提出致シマシタル次第デアリマス、次ニ臨時軍事費特別會計法中改正法律案ニ付テ御説明申上ゲマシテ、今回改正セムト致シマスルノハ次ノ三點デアリマス、第一點ハ現下ノ時局ニ願ミマスルニ軍需品ノ製造工場等ニ於キマシテ、軍需品ノ原材料ノ一部分不足致シテ居リマス時、即チ軍ノ所有スル原材料ヲ當該工場等ニ供給シテ軍需品ノ製造ヲ圓滑ナラシメル必要ガアリマス場合、又戰地ニ於テ軍以外ニ所要ノ物資ヲ有スルモノナク軍自ラ之ヲ供給致サナケレバ、軍事行動ノ目的ヲ達成スルコト困難ナル場合等ニ於キマシテハ、臨時軍事費特別會計ニ屬スル物資ヲ軍以外ノ者ニ賣拂ヒ得ルコトトスルノデアリマス、

第二點ハ戰地ニ於キマシテ所要ノ物資ヲ軍以外ノ者ニ於テ取得シ、之ヲ必要トスル地ニ輸送スルコトハ戰地ノ實情上當分ノ内ハ困難、又ハ不適當デアリマスルノデ、是等物資ノ取得、輸送、賣却等ヲ軍ニ於テ擔當致シマス場合ノ會計經理ニ付キマシテハ、臨時軍事費特別會計ノ歲入、歲出トシテ經理スルノ最モ實情ニ即スル方法ト存ゼラ

レマスノデ、其ノ途ヲ拓クノデアリマス、

昭和十七年一月三十一日

昭和十五年法律第六十九號中改正法律案特別委員會會議事速記第二號

昭和十七年一月三十一日

第三點ハ、前述ノ第一點ノ改正ノ結果、臨時軍事費特別會計ニ於テ臨時陸軍材料資金特別會計ト同様ノ作用ガ行ハレルコトナリマスノデ、臨時陸軍材料資金特別會計ノ年度ヲ終結スルコトト致スノデアリマス、以上ノ理由ニ依リ本法法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、以上十五件ノ法律案ニ付キマシテハ御審議ノ上何卒御贊成ヲ御願ヒ申上ゲル次第デアリマス

○委員長(子爵秋元春朝君) 此ノ際參考書、其ノ他御請求ノアル方ハ御發言ヲ願ヒタイト思ヒマス、今ニ限ツタコトデアリマセシガ、又審議中デモ御請求ノ方ハ御發言ヲ願ヒマス、チヨット速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○委員長(子爵秋元春朝君) ソレデハ速記ヲ始メテ……皆サンニ御諮リ致シマスガ、是カラ引續イテ質疑應答ニ入りタイト思ヒマス、先ヅ先程申上ゲタ順序ヲ追ッテ各案毎ニ質疑應答ヲ出來ルダケニ時間ニ於テヤッテ賞ッテ、後ハ他日ニ讓ルコトニ致シマス、別ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵秋元春朝君) 御異議ナイト認メマシテ左様取計ヒマス、昭和十五年法律第六十九號中改正法律案、之ヲ議題ニ供シマス、是ニ付キマシテ御質疑ノアル方ハ御發言ヲ願ヒマス

○男爵東郷安君 先程ノ御説明ノ不ニ、支那事變ニ關シ功勞アリタル陸海軍軍人其ノ他ニ對スル行賞ハ、昭和十五年度以降緩急ノ順序ヲ考慮シテ實行セラレ、而シテ今更ニ進んで文官其ノ他ノ公務員並ニ一般民間功勞者ニ對スル分、及今回ノ大東亞戰爭ニ際シ死歿シタル軍人、軍屬ニ對スル行

賞ト斯ウ云フ風ニ分ケテアリマスガ、伺ヒタイノハ文官及其ノ他ノ公務員並ニ一般民間功勞者ニ對スル分モ亦支那事變ト大東亞戰爭トハ區分シテ別々ニ行賞ノ御沙汰ガアルノデアリマセウカ、此ノ點ヲ伺ヒタイ

○政府委員(谷口恒二君) 此ノ支那事變ニ對スル行賞ニ付キマシテハ、昭和十五年四月二十八日迄ノ分ヲ一纏メニシテ行賞ヲ行ハレルコトニ相成リマシテ、昭和十五年度カラ其ノコトヲ始メテ居ルノデアリマス、其ノ分ニ付キマシテハ只今迄ハ文官關係ハ十五年度、十六年度ニハナカッタノデアリマシテ、十七年度ニ於テ初メテ文官ガ出テ來ルノデアリマス、デ御尋ノ要點ハ文官ニ付テハ支那事變ト大東亞戰爭トヲ區分シテ行賞ガ行ハレルコトニナルデアラウカト斯ウ云フヤウナ御要點ト思ヒマスガ、其ノ點ハ仰セノ通りデアリマス、只今申シマシタ昭和十五年四月二十八日迄ト云フノハ間違ヒデアリマシテ、昭和十五年三月三十一日迄デアリマシタ、三月三十一日迄ノ分ハ只今申シマシタヤウニ、十七年度ニ於テ初メテ文官ガ現レルノデアリマスガ、大東亞戰爭ニナリマシタナラバ、是トハ切離シテ、大體ニ於テ昭和十五年四月一日以降ノ分ガ一緒ニナルト思フノデアリマスガ、文官ニ付キマシテモ大體將來此ノ支那事變ト切離シテ又別個ニ行賞ガ行ハレル日ガアルデアラウ、只今ノ處、稍推測デアリマスルガ、大體左様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、先程私申シマシタノハ甚ダ不調法デアリマスガ、最初ニ申シマシタ十五年四月二十八日ガ正シイノデアリマシテ、後デ申シマシタ三月三十一日ト云フノハ思ヒ違ヒデアリマス、チヨット訂正ヲ致シテ置キマス

○田口弼一君 此ノ參考書ヲ拜見致シマスト、發令濟人員ト云フノガ百七十五萬三千ト云フ大變ナ數ニ上ッテ居リマス、全體デ行賞セラレル數ハ最初大體下ノ位ノ員數ニナル御見込デアリマスカ

○政府委員(中村建城君) 全體合セマスト五百九十六萬五千人位ニナル譯デアリマス

○田口弼一君 其ノ中デ全體トシテ何カ軍人トカ、軍屬トカ、文官トカ云フヤウニ大體分ケニナルノデアリマスカ

○政府委員(谷口恒二君) 是ハ概數ノ見込デアリマスルガ、大體ノ見當ト致シマシテハ、其ノ申デ文官各省ノ分ハ概數百八十八萬人デアリマス

○村上恭一君 此ノ法律デ認メテアリマスルノハ一時賜金ノ爲ノ公債、一時賜金ニアラザル行賞ハ年金デアリマスカ、是ハ年金ニ對スル一時賜金ト云フ意味デアリマスカ、ソコヲチヨット御尋ネ致シマス

○政府委員(中村建城君) 今回ノ行賞トシテ出マスルモノハ金鷲勳章ニ伴ヒマス一時賜金デゴザイマス、金鷲勳章ハ從來ハ年金制デゴザイマシタガ、今回改正致シマシテ、一時賜金ニ變リマシタ、其ノ他ノ死歿者ニ付キマシテハ、死歿者特別賜金ト云フノガ出ルノデゴザイマス、ソレト行賞一時賜金ハ別ニ出ルノデアリマス、斯様ナ三ツノモノデアリマス

○村上恭一君 サウシマス、年金ハナクナツト考ヘテ宜イノデスカ

○政府委員(中村建城君) 左様デゴザイマス

○村上恭一君 サウシマス、是ハ文字トシマシテハ一時賜金ト云ハナクテモ、單ニ賜金ト云フテモ宜イコトニナルノデゴザイ

○政府委員(中村建城君) 年金ガナクナリマシタカラ一時賜金ト特ニ言ハナクテモ分ルト仰セラレレバ、左様ニナルカトモ存ジマス、マア恩給見タヤウナ年金デアリマス、行賞ニハ年金ト云フ制度ハナクナリマシタ

○村上恭一君 賜金ダケデゴザイマスネ

○政府委員(中村建城君) 左様デゴザイマス

○村上恭一君 ソレカラ此ノ法律デ公債ニ依ッテ財源ヲ作リマス、其ノ行賞賜金、其ノ行賞賜金ヲ受ケル者ハ先刻大藏次官ノ御話ノ、昭和十五年三月三十一日現在デ打切ルト、斯ウ云フコトデゴザイマスナ……

○政府委員(谷口恒二君) 其ノ點チヨット申シ誤リマシタノデアリマスガ、昭和十五年四月二十八日デアリマス

○村上恭一君 其ノ日時ハ宜シウゴザイマスガ、ソレデ一應打切ルノデアリマスカ

○政府委員(谷口恒二君) 左様デゴザイマス

○村上恭一君 サウ致シマス、其ノ以後ノ行賞ニ付キマシテハ、全然別個ノ問題ニナル、斯ウ云フ次第デゴザイマスナ……

○政府委員(谷口恒二君) 左様デゴザイマス

○村上恭一君 茲ニ此ノ本法案ニ付キマシテノ資料ガ出テ居リマスルガ、ソレハ多分衆議院ノ特別委員會ニ於ケル要求ニ依ッテ政府ガ御提出ニナツタモノノダト思ヒマス、支那事變行賞一時賜金賜與發令濟人員及金額ガゴザイマスガ、是ハ何時ノ現在デアリマスカ

○政府委員(中村建城君) 昭和十七年一月二十四日現在デアリマス

○政府委員(中村建城君) 年金ガナクナリマシタカラ一時賜金ト特ニ言ハナクテモ分ルト仰セラレレバ、左様ニナルカトモ存ジマス、マア恩給見タヤウナ年金デアリマス、行賞ニハ年金ト云フ制度ハナクナリマシタ

○村上恭一君 賜金ダケデゴザイマスネ

○政府委員(中村建城君) 左様デゴザイマス

○村上恭一君 ソレカラ此ノ法律デ公債ニ依ッテ財源ヲ作リマス、其ノ行賞賜金、其ノ行賞賜金ヲ受ケル者ハ先刻大藏次官ノ御話ノ、昭和十五年三月三十一日現在デ打切ルト、斯ウ云フコトデゴザイマスナ……

○政府委員(谷口恒二君) 其ノ點チヨット申シ誤リマシタノデアリマスガ、昭和十五年四月二十八日デアリマス

○村上恭一君 其ノ日時ハ宜シウゴザイマスガ、ソレデ一應打切ルノデアリマスカ

○政府委員(谷口恒二君) 左様デゴザイマス

○村上恭一君 サウ致シマス、其ノ以後ノ行賞ニ付キマシテハ、全然別個ノ問題ニナル、斯ウ云フ次第デゴザイマスナ……

○政府委員(谷口恒二君) 左様デゴザイマス

○村上恭一君 茲ニ此ノ本法案ニ付キマシテノ資料ガ出テ居リマスルガ、ソレハ多分衆議院ノ特別委員會ニ於ケル要求ニ依ッテ政府ガ御提出ニナツタモノノダト思ヒマス、支那事變行賞一時賜金賜與發令濟人員及金額ガゴザイマスガ、是ハ何時ノ現在デアリマスカ

○政府委員(中村建城君) 昭和十七年一月二十四日現在デアリマス

○村上恭一君 本法案ニ於キマシテハ、昭和十五年分及同十六年度分トアリマシタノヲ、昭和十五年分乃至同十七年度分ト改メラレタノデアリマス、斯ウ云フコトニナリマスネ、ソコデ本法ニ依ル公債發行ハ矢張り其ノ年度内ニ於テ行ハレルモノデアリマスカ、斯ウ云フ意味デゴザイマスカ、此ノ年度ハ公債發行ノ期間ヲ定メタコトニナルノデアリマスカ

○政府委員(中村建城君) 此處ニ何年度分トアリマスノハ、其ノ何年度ニ發令シタモノニ對シテ支給スル公債發行ノ權能デアリマス、斯様ニ解釋致シテ居リマス、サウシテ發令致シマシタ公債ガ渡リマス迄期間ガ掛リマスト、年度ヲ越ス場合モアリマス

○村上恭一君 サウ致シマスルト、本法ニ於テハ公債發行ノ權能ノ期間ガ別ニ限定シテ居ナイト云フコトニナルノデアリマス

○政府委員(谷口恒二君) 仰セノ通りデアリマス

○村上恭一君 此ノ支那事變、今度ノ大東亞戰爭ニナリマス、其ノ戰爭ニ關スル功勞者ニ對スル賜金ノ財源ハ、專ラ此ノ法律ニ依ル公債ニ限ルト云フノデアリマス、或ハ其ノ行賞賜金ノ財源ハ尙他ニ求メラレルノデアリマス、ト言ヒマスノハ、行賞賜金ノ總額ガ此ノ起債全部ノ總額ヲ超ユルコトハナイト云フコトニナリマス

○政府委員(中村建城君) 此處ニゴザイマス公債ハ全部交付公債ノ公債デゴザイマシテ、此ノ外ニ今度ノ一時賜金ハ成ルベク公債額面モ相當下ゲテ居リマスガ、尙一時賜金ガ二十圓未滿ニナツタ場合ハ公債發行ノ

途ガアリマセヌカラ、其ノ場合ハ現金ヲ交付スル、其ノ外特殊ノ場合ハ一時賜金ニ代ヘテ現品ノ授與ヲサレル場合モアリマスガ、其ノ經費ハ公債以外ニ計上シテアリマス

○村上恭一君 ソレデハ言葉ヲ換ヘテ伺ヒマスガ、此ノ行賞賜金ハ昭和十五年四月二十何日カデ打切ル其ノ範圍ニ於ケル行賞賜金、其ノ總額ハ凡ソドノ位デアルト云フ御見込デアリマス、是ハ勿論推算デアリマスガ、主管廳トシテハ大藏省デナクシテ内閣賞勳局ト云フヤウナコトデアリマセウガ、大藏省當局デハ其ノ點ニ付テ凡ソドノ位ノ腹案ヲ持ツテオイデニナリマス

○政府委員(中村建城君) 公債額ノ外ニ現金トシテ約七十五萬圓、ソレカラ賜品代、賜リ物ガアリマスガ、其ノ代トシテ約二百四十七萬圓此ノ外ニアリマス、此ノ只今申上ゲタ數字ハ陸海軍軍人ニ關スル分デアリマス

○委員長(子爵秋元春朝君) 本法案ニ對シ他ニ御質疑ゴザイマセヌカ、他ニ御質疑ガナイヤウニ認メマスガ、一應此ノ程度デ打切りマシテ次ノ法案ニ移リマス、朝鮮事業公債法中改正法律案、何カ御質疑ノアル方ハ御發言ヲ願ヒマス、事業公債ノ總額ト云フノハドシナコトニナツテ居リマス、其ノ時々發行シテ居ラレルデセウガ、累計シタモノデモアリマセウカ

○政府委員(水田直昌君) 昭和十五年分迄ノ發行濟額ガ總額九億二千九百五十五萬餘圓ニ相成ツテ居リマス

○委員長(子爵秋元春朝君) 今一ツ伺ヒマスガ、事業ト云フト、此ノ事業ノ中ニハ茲ニ出テ居ルノハ、鐵道建設及改良費、其ノ

外又違ツタ種類ノ事業ガアルノデスカ、事業ノコトヲ伺ヒマス

○政府委員(水田直昌君) 今回其ノ財源ヲ公債ニ仰イデ、朝鮮ニ於テ施行致シタイ事業ハ只今御示シノ鐵道建設及改良費ノ外ニ、道路修築改良費、港灣修築改良費、電信、電話ノ擴張及改良、治水事業、砂防事業、ソレカラ米ノ爲ノ土地改良ニ關スル事業費、鹽田ノ築造其ノ他一二ノ事業ニナツテ居リマス

○村上恭一君 此ノ法律案デ考ヘテ居ラレマスル事業デスカ、何レモ繼續費數年度ニ互ルモノト思ヒマスガ、此ノ法律デ財源ヲ作ラムトスル經費、ソレハ此ノ繼續事業經費ノ總額ヲ押ヘテ御出デニナルノデアリマセウカ、表ヲ見レバ分ルデアリマセウケレドモ、簡單ニ御答ヲ願ヒタイノデアリマス

○政府委員(水田直昌君) 朝鮮總督府ニ於テ各種ノ事業ヲ計畫致シテ居リマスルガ、此ノ公債デ御願ヒ致シマスルノハ、繼續事業トシテ計畫セラレタル事業ハ、總テ財源ヲ公債ニ仰ゴト云フ意味デ提出致シテ居ルノデアリマス、裏カラ申シマスルト、尙繼續事業ト致シマシテモ、普通財源支辨ヲ以テシテ居ル事業ガ他ニアル譯デアリマス、例ヘバ大學ノ營繕、建築工事ト云フヤウナモノハ相當ノ年限デ、繼續事業デ御願ヒ致シテ居ルノデアリマス、茲ニハ計上致シテ居ラヌノデアリマスガ……

○村上恭一君 私ノ伺ヒマシタノハ、サウ云フコトデハナイノデシテ、申シ方ガ悪カッタカト思ヒマスガ、此ノ法律ノ、公債ヲ財源トスル事業費ハ、此ノ參考書ニモ書イテアリマス鐵道、道路其ノ他デアリマスガ、其ノ鐵道道路等ノ事業、何レモ繼續費デア

リマス、本法ニ於テ起債ノ權能ヲ得テ作ル總額ハ、鐵道トカ道路トカ云フ繼續事業ノ事業費ノ全額ヲ押ヘテ御出デニナルノカト云フコトデアリマス

○政府委員(水田直昌君) 繼續事業ト致シマシテ御協賛ヲ得ムトスルノハ、矢張り御示シノヤウニ將來ニ互ル全額ヲ公債デ御願フスルコトニ致シタノデアリマス

○村上恭一君 サウ致シマスルト是等ノ事業、繼續事業デアリマスガ、後年度ニ於テ其ノ計畫ヲ擴張爲サライ限リハ、此ノ起債金額ヲ増加スル必要ハナイト云フコトニナル譯デアリマス

○政府委員(水田直昌君) 是等ノ事業ガ現在御願ヒ致シテ居リマス公債ノ金額ノ範圍内ニ於テ、豫定ノ計畫ガ執行シ得マス限リニ於キマシテハ、増額ヲ御願ヒスルコトハナイ譯デアリマス

○村上恭一君 サウ言ハレマスノハ此ノ事業ノ計畫ヲ變更シナクテモ、之ヲ擴張シナクテモ、例ヘバ材料ノ物價騰貴ト云フヤウナ事情ガアレバ、經費ニ不足ヲ來タシテ、公債發行額ヲ増額シナケレバナリマセヌト云フヤウナコトヲ意味シテ居ラレルノデアリマス

○政府委員(水田直昌君) 御示ノ通りデアリマス

○村上恭一君 尙念ノ爲ニ伺ヒマスガ、サウ致シマスルト、本法ニ依ル起債、其ノ年度ハ必ズシモ當年度、昭和十七年度ニ限ルコトハナイ、事業ノ進行ニ伴ヒ、必要ニ應ジテソレノ年度ニ於テ、相當ナ公債ヲ起サレル、斯ウ云フコトニナルト思ヒマスガ、ソレデ宜シイノデスカ

テアリマス参考書ニ、大體各年ノ年割額ガ計上致シテゴザイマスルガ、其ノ當該ノ年度ニ至リマシテ、只今御示ノヤウナ事情ガ起リマセヌ、例ヘバ物價騰貴ト云フヤウナコトモ起ラズニ、此ノ範圍デヤリ得ル場合ニ於キマシテハ、茲ニ御願ヒ致シテ居リマスル各年度割ノ公債發行ニ止マル譯デゴザイマス

○委員長(子爵秋元春朝君) 頂戴シタ参考書ノ中ニ、鐵道及港灣ノ略圖ガアリマスガ、赤イ印ガ付イテ居リマスガ、是ハ何カ此ノ豫算ト關係ガアリマスガ、若シアレバ極ク概略デ宜シウゴザイマスガ、御説明願ヒタイ

○政府委員(水田直昌君) 御手許ニ差上ゲマシタ圖面ノ申デ、赤ク記シマシタノハ鐵道ニ付テデアリマスガ、北ノ方ノ威鏡北道ノ清津ト羅津トノ間、之ガ現在鐵道ガ建設サレテ居リマセヌ、昭和十七年度カラ新シク行ヒマス清津羅津間ノ鐵道ノ建設ハ八十七「キロ」程ノ距離デアリマシテ、總額約五千萬圓、四千九百七十萬圓程建設致シタイ計畫デ居リマス、其ノ財源ヲ御手許ニ出シテ居リマス、尙京城カラ上三峯、詰リ威鏡線全部ニ付テ斯ウ赤ク塗ッテ居リマスルガ、ソレガ矢張り鐵道建設及改良費ノ追加デ、威鏡線ノ一部複線工事、詳シク申シマスト龍山、上三峯間一部複線其ノ他改良工事、京城カラ上三峯迄、最モ貨客ノ輻輳致シテ居リマスル箇所八箇所ダケ、取敢ズ早急ニ、時局ニ應ズル爲ニ複線ニスル必要ガアリマスルノデ、八箇所ダケヲ複線ニスル、其ノ他若干ノ改良工事ヲ施ス、此ノ意味ニ於キマシテ、全線ニ赤ク塗ッテ譯デアリマス、其ノ經費ガ全部デ五千四百餘萬圓ニ相

成ルノデアリマス

○村上恭一君 本法デ計畫シテオイデニナリマスル鐵道其ノ他ノ土木工事デアリマスガ、是ハ最近諸般ノ物資勞力不足ノ際ニモ拘ラズ、豫定ノ通り遂行スルコトガ出來ル御見込デアリマセウカ、ソレニ付テ最近既往數年ノ實例ニ照シテ御確信ノアル所ヲ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(水田直昌君) 朝鮮ニ於キマスル鐵道、港灣及一部ノ道路ニ付キマシテハ、時局柄緊急差措キ難イ工事デアリマスルノデ、從來トモ資金、物資ト睨ミ合シテ計畫致シテ居ル所デアリマス、昭和十七年度ニ於キマシテ、茲ニ事業公債トシテ御願ヒ致シテ居リマスル各種ノ工事ニ付キマシテモ、豫算編成當時、企畫院、大藏省等關係ノ方面ト資材勞力ニ付キマシテ、十分緊密ナル連絡ヲ以テマシテ計上致シタ所デアリマス、從ヒマシテ、朝鮮ノ立場カラ致シマスルト、モット澤山仕事ヲ致サナケレバナラヌト考ヘルノデアリマスルガ、資材ヲ最大限度ニ御願ヒシマシテモ、ナカノ日本全體ノ關係カラ致シマシテ十分ニハ參リマセヌ、鐵道建設改良等ニ致シマシテモ、昭和十七年度デ一億六百餘萬圓デアリマスガ、十六年度ハ一億三千八百萬圓デ、若干減ッテ居ルヤウナ狀況デアリマス、十分ニ資材、勞力ト睨ミ合シマシテ、計畫ノ遂行ニ差支ヘナイ限度ニ於キマシテ豫算ヲ計上致シテ居ル次第デアリマス

○委員長(子爵秋元春朝君) 今ノ問題ニ關聯シテデスガ、發電設備トカ、送電設備トカ云フモノハ豫定ノ通り進行シテ居ルノデスカ、鴨綠江ノ發電所ナシカハ……

○政府委員(水田直昌君) 茲ニ電信、電話

擴張及改良ト云フノハ、是ハ政府ヲ施設致シマスル各種ノ電信、電話關係ノ事業デアリマス、大體昨年、一昨年當時ニ於キマシテハ、是ハザックバラシニ申シマス、豫算編成當時ニ物動トノ關係ガ概數ニ基イテ豫算ヲ編成致シテ居リマス、從ッテ毎年此ノ物動ガ確定致シマスルト、ソレニ付テ實行豫算ヲ編成サレテ居リマシタ關係上、昨年、一昨年等ハ或程度ノ繰延ガアッタノデアリマスガ、昭和十七年度豫算ニ於キマシテハ、其ノ點ガ物動ト極メテ緊密ナル關係ニ、豫算編成ト「マッチ」スルヤウニ相成テ居リマスルノデ、大體十七年度ハ此ノ豫算ノ通りニ實行シ得ヨウト思ッテ居リマス、只今委員長ノ御示ノ綠鴨江水電、是ハ民間ノ工事デ、所謂鴨綠江ノ水豐ノ發電ノコトヲ御示シカト思ヒマスガ、水豐ノ發電ハ是ハ民間ノ工事デアリマスルノデ、此ノ公債トハ關係ガアリマセヌガ、アレハ七十萬キロノ大發電デアリマシテ、十萬「キロ」ノ發電機七臺ヲ据付ケルト云フノデ、昭和十二年カラ着手致シテ居リマスガ、其ノ一臺十萬「キロ」ノ發電機ヲ一部「ドイツ」ニ注文シテ居ツタノデアリマスガ、獨「ソ」開戦ノ結果急ニ機械ガ此方ニ參ラナクナツタト云フヤウナ關係デ、若干時期ガ遅レマシタ、ケレドモ大體豫定ノヤウニ進ミマシテ、現在既ニ二臺ノ發電ハ開始致シマシテ、二十萬キロハ出テ居ルヤウナ狀況ニナツテ居リマス

○村上恭一君 細カイコトデ恐縮デスガ、此ノ參考書ノ後ノ方ニ費目ノ内譯ガ細カク書イテアリマス、其ノ中ニ、勅任、表任俸給、判任俸給、之ニ並ベテ賞與ト云フ科目ガアリマス、是ハ官吏ノ俸給以外ノ賞與デアラウト思ヒマスガ、是ハ俸給ト賞與トハ

流用セズニ經理ナサルノデアリマスガ、ソレカラ此ノ賞與ノ申ニハ、官吏以外ノ者、事務員、傭人、サウ云フ者ニ對スル給料以外ノ賞與ハ含マナイノデアリマスガ、其ノ二點ニ付テ、チヨット計數上ノ賞與ト云フコトニ付キマシテ御尋スル次第デアリマス

○政府委員(谷口恒二君) ソレハ全ク流用ヲ禁止スル迄ニハ至ラナイノデアリマシテ、御承知ノ通り元ハ賞與ノ目ト云フノガナカッタノデアリマスガ、近年賞與ノ目ト云フノラ立テマシテ、賞與ハ將來賞與ノ目カラダケ出スト云フ所ニ此ノ二三年來運ンデ參リマシタ、只今ノ所デハ流用ヲ禁止スルト云フ所迄マダ行キ付イテ居リマセヌケレドモ、成ルベク賞與ハ將來ハ賞與ノ目ダケカラ出シテ、從來ノ弊害ガアリマシタ事業費カラ出スヤウナコトハ勿論シナイ、其ノ他、事務費カラモ流用スルト云フコトヲシナイ、成ルベク賞與ノ方カラ持ッテ行クト云フ考ヘ方デ賞與ノ目ヲ設ケタノデアリマスガ、只今ノ所デハマダ禁止スルト云フ、サウ云フ扱ヒニハ致シテ居リマセヌ、大體ニ於キマシテハ賞與ノ目カラダケ賞與ヲ出スト云フコトニ方向トシテハ進行致シテ居リマス

○村上恭一君 今ノ御話デハ必ズシモ流用ヲ嚴禁スル迄ニハ至ッテ居ラヌト云フコトデアリマシタガ、ソレハ俸給カラ賞與ヘノ流用ヲ禁ジナイ、事務費ト申シマスガ、事業費ト申シマスガ、ソレカラノ流用ヲモ禁

○政府委員(谷口恒二君) 官吏ダケデアリマス、官吏デナイ雇傭人以下ノ者ハ別ニ事務費ノ方カラ出スト云フコトニナツテ居リマス

○村上恭一君 今ノ御話デハ必ズシモ流用ヲ嚴禁スル迄ニハ至ッテ居ラヌト云フコトデアリマシタガ、ソレハ俸給カラ賞與ヘノ流用ヲ禁ジナイ、事務費ト申シマスガ、事業費ト申シマスガ、ソレカラノ流用ヲモ禁

○村上恭一君 今ノ御話デハ必ズシモ流用ヲ嚴禁スル迄ニハ至ッテ居ラヌト云フコトデアリマシタガ、ソレハ俸給カラ賞與ヘノ流用ヲ禁ジナイ、事務費ト申シマスガ、事業費ト申シマスガ、ソレカラノ流用ヲモ禁

ジナイ、兩方カラ賞與ニ落シ込ムコトヲ或程度迄ハ認メテ居ラレル、斯ウ云フコトデアリマスカ

○政府委員(水田直昌君) 朝鮮總督府ニ於キマシテハ、賞與ハ矢張り勅任、奏任、判任ノ俸給ノ一部ヲ支辨スベキモノデアルト云フ風ニ考ヘテ居リマス、事務費カラ賞與ニ持ツテ來ルト云フコトハ慎ンデ居リマス

○村上恭一君 併シ其ノ俸給ノ外ニ賞與ト云フ科目ガ立テテアリマスガ、今ノ御答辯ハ俸給カラ賞與ヘノ流用ハ禁止シテ居ル、斯ウ云フコトデスカ

○政府委員(水田直昌君) 俸給カラ賞與ヘハ必要ナ場合ハヤツテ居リマス、尙賞與カラ俸給ヘ持ツテ行クコトモ必要ナ場合ハ實行致シマス、事務費カラ俸給及賞與ヘ持ツテ行クコト云フコトハゴザイマセヌカ

○村上恭一君 大藏省デハ……

○政府委員(谷口恒二君) 大體朝鮮ノ政府委員カラ申サレタ通りデアリマス、左様ニ實行サレテ居ルモノデアラウト私共考ヘテ居リマス

○委員長(子爵秋元春朝君) 本法案ニ付テ他ニ御質疑ゴザイマセヌカ

○田口彌一君 御尋ネシタイト思フコトモアルト思ヒマシテ参考書ヲ見レバ、参考書ノ中ニモ大分説明サレテ居リマスガ、今實ハ参考書ヲ先刻賞ヒマシタダケデ、マダ十分拜見シテ居リマセヌカラ、又参考書ヲ見マシタ後ニデモ質問ガアリマシタラ留保シテ置キマス

○委員長(子爵秋元春朝君) 他ニ御質疑ガナイヤウナラバ朝鮮ノ事業公債法ニ付テハ此ノ程度……皆様ニ御諮リシタイトガ一ツアルノデスカ、朝鮮及臺灣ニ於

ケル此ノ事變關係ニ對シテノ思想問題トカ色々ナコトニ付テノ丁度好イ機會デゴザイマスカラ、之ヲ一括シテ聽キタイト思ヒマスガ、臺灣事業公債法ノ一般ノ質問ノ終リマシタ後デ、必要ニ應ジテハ秘密會カ何カニシテ伺ヒタイト思ヒマスガ、御異存ゴザイマセヌカ

○委員長(子爵秋元春朝君) 御異存ナイト認メテ、左様取計ラヒマス、次ハ臺灣事業公債法中改正法律案、之ヲ議題ニシマス、チヨット伺ヒマスガ、今回公債ヲ増加サレタ分ニ依ッテノ事業デスカ、何カ大キナモノデモ開始サレルト云フコトナラバ、其ノ御説明ヲ事業別ニ御願ヒシタイト思ヒマス

○政府委員(齊藤樹君) 今回ノ改正ニ依リマシテ發行セラル、公債ニ依ッテ遂行セムトスル事業ハ、鐵道ノ改良事業並ニ大甲溪開發ノ事業デアリマス、鐵道改良事業ノ内容ハ、參考書ニモ相當詳細ニ記述シテゴザイマスガ、御一覽願ヒマス、御分リニナルト存ジマスガ、數字のニハ尙他ノ政府委員カラ申上ゲルコトニ致シマス、大甲溪開發ト申シマスルノハ、臺中州下ヲ流レマシテ、先年御協贊ヲ經テ只今執行中デアリマス新高築港完成ノ後、新高港附近ニ注イデ居リマスル大甲溪ト云フ大キナ川ノ上流ニ於キマシテ、相當世界的ナ高堰堤ヲ築造致シマスルコトニ依ッテ河水統制ノ目的ヲ達シ、並ニ其ノ河水統制ノ結果ト致シマシテ、下流數箇所ニ設ケラレマスル發電所ノ電力ヲ良質ナラシメ、而モ相當大規模ノ出力ヲ計畫致シテ居ルノデアリマス、從ツテ大甲溪開發事業ノ狙ヒマスル處ハ電源ノ開發ト、並ニ大甲溪ノ奥地ニアリマスル森林資源ノ開發

ト、同時ニ河水統制ノ結果ト致シマシテ、流域ニ於ケル荒蕪地ノ開墾、又既墾地ノ灌溉施設並ニ新高工業港ニ對スル工業用水ノ供給ト云フヤウナ各方面ノ狙ヒヲ持ツテ居リマス、今回只今衆議院ニ於テ審議ヲ願ッテ居リマスル三箇年繼續開發ノ事業費ハ總額五千五百萬圓ニ致シテアリマス、併シナガラ其ノ五千五百萬圓ノ事業ハ、大甲溪開發ノ事業ノ中準備ノ事業ニ屬スルモノ、例ヘバ鐵道ノ建設、道路ノ開鑿或ハ動力費、若シクハ電源開發等ニ關スル各種ノ調査費、ソレ等ノモノヲ包含致シマシテ五千五百萬圓、三箇年繼續計上致シタノデアリマス、此ノ準備ノ事業ノ進行ニ伴ヒマシテ、後年度ニ於テ更ニ本式ノ開發事業費ト申シマスカ、相當多額ノ事業ヲ今日計畫ト致シテ持ツテ居ルノデアリマス

○政府委員(中嶋一郎君) 今回公債増額ヲ御願ヒ致シマス事業ノ中鐵道關係ノモノニ付キマシテ私ヨリ御説明申上ゲマス、臺灣ノ鐵道ガ最近急激ナ貨客ノ増加ニ連レマシテ、相當設備ガ不足致シ各種ノ方面ニ支障ヲ來タシテ居ルノデゴザイマスガ、ソレニ付キマシテ數年前ヨリ毎年公債財源ヲ御協贊ヲ願ヒマシテ、著々ト改良事業ノ方ニ手ヲ二箇年計畫トシテ豫算ヲ計上致シマシテ、其ノ中千五十八萬圓ヲ公債財源ニ仰ギ、ソレ以外ノ七十一萬六千圓ヲ普通財源デ賄ッテ此ノ改良ヲ遂行致シタイト云フヤウニ計畫ヲ樹テマシタノデアリマス、其ノ工事ナリ或ハ經費ノ内譯ニ付キマシテハ此ノ參考書ニ多少具體的ニ御説明申上ゲテゴザイマスガ、大體大部分ノ經費ハ車輛増備デゴザ

イマシテ、一番差當リ不足致シ、一番焦眉ノ急ヲ告ゲテ居ル所ノ車輛ノ増備ヲ眞先ニ致シタイト考ヘマシテ右ニ申上ゲマシタ一千百萬餘圓ノ中約一千萬圓近イ金額ヲ車輛ノ方ニ當テテ居リマス、其ノ外ニ停車場ノ改良、機關庫ノ増設、通信設備ノ改良、鐵道教習所ノ新築、或ハ工場ノ設備等ガ大體主ナル仕事デゴザイマス

○男爵東郷安君 大甲溪開發事業ニ付テ伺ヒマスガ、此ノ御説明ノ中ニ「本島ニ於テ豐富低廉ナル電力ノ供給ニヨル高級航空燃料工業ノ確立」ト云フコトガ書イテアリマスガ、此ノ電力ニ依ル高級航空燃料ト云フノハ何デアリマスカ

○委員長(子爵秋元春朝君) 速記ヲ始メ……(速記中止)

○委員長(子爵秋元春朝君) 速記ヲ始メ……頂戴シタ此ノ圖面ノ中ニ、副生品職場擴張工事トアリマスガ、此ノ副生品職場ト云フノハドウ云フノデスカ

○政府委員(中嶋一郎君) 臺北ノ近郊ニ鐵道工場ガゴザイマシテ、其處ニ從來ハサウ云フ副生品工場ト云フモノハゴザイマセヌカ、最近ノヤウニ種々ノ物資ガ不足致シマスレバ、自分ノ所デ出來ル物ヲ成ルベク利用致シタイト云フ所カラ、此ノ工場内ニサウ云フ工場ヲ造リタイト云フ考デゴザイマス

○委員長(子爵秋元春朝君) 何カ品物ノ名前ヲ二ツ三ツ擧ゲテ戴ケバ副生品ト云フモノガ分リマスガ、唯副生品デハ何ヲ造ルノカ分ラヌ

○政府委員(中嶋一郎君) 取調ベマシテ後刻申上ゲマス、副生品ノ一二ヲ御答ヘ申上ゲマス、工場デ使ヒマシタ油類或ハ綿類ノ

昭和三十五年法律第六十九號中改正法律案特別委員會會議事速記第一號

回收、ソレカラ色々銅、合金ナドヲ、例  
ヘバ屑物ニナリマシタモノヲ更ニ再生致シ  
マストカ、サウ云フヤウナモノデゴザイマ  
ス

○委員長(子爵秋元春朝君) 他ニ本案ニ付  
テノ御質疑ゴザイマセスカ、御發言ガナイ  
ヤウデゴザイマスカラ、質疑ハ一應此ノ程  
度ニ打切ツテ置キマシテ、先程申上ゲマシタ  
ヤウニ、臺灣竝ニ朝鮮内ニ於ケル治安ノ状  
況ニ付テ政府委員カラノ御説明ヲ伺ヒタイ  
ト思ヒマスノデ祕密會ニ致シマス、是ヨリ  
祕密會ニ入リマス、議員、國務大臣、議事  
ニ關係アル政府委員及事務ヲ執ル者以外ハ  
御退場ヲ願ヒマス

午後三時二十二分祕密會ニ移ル

午後四時五十九分祕密會ヲ終ル

○委員長(子爵秋元春朝君) 速記ヲ始メテ  
……祕密會ヲ是デ終リマス、如何デスカ、  
本日ハ此ノ程度デ散會致シタイト思ヒマス  
〔贊成〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵秋元春朝君) 御異議ナケレ  
バ、本日ハ此ノ程度デ散會致シマス、明後  
日二日午前十時カラ引續キ開會致シマス、  
是デ散會致シマス

午後五時一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵秋元 春朝君  
副委員長 男爵東郷 安君  
委員

公爵岩倉 具榮君  
侯爵佐竹 義春君  
伯爵柳澤 保承君  
子爵今城 定政君  
村上 恭一君

政府委員

大藏次官 谷口 恒二君  
大藏書記官 植木庚子郎君  
同 中村 建城君  
海軍主計中將 武井 大助君  
海軍主計大佐 稻岡 新君  
鐵道省經理局長 平山 孝君  
朝鮮總督府政務總監 大野綠一郎君  
朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君  
臺灣總督府總務長官 齋藤 樹君  
臺灣總督府財務局長 中嶋 一郎君